

人にやさしい温かい街づくり

市民が主役の岩見沢



所信表明

渡辺市長再選後初の議会、「市議会第1回臨時会」が11月5日に開かれ、市長就任の所信表明が行われました。この中で、渡辺市長は「人にやさしい温かい街づくり」を市民の皆さんと一緒に力強く進める決意と、3期目の市政を担当するに当たっての基本的な姿勢を表明しました。

私は、厳しい行財政環境や地域主権改革が進められる中、地方自治のあり方が問われており、住民自治を拡充することが今後の岩見沢市のみならず、全国の地方自治体を方向づけるとの認識を強調してまいりました。

多くの市民の皆さまのご期待に応えるため、全力を挙げて市政の推進に当たる決意を新たにしているところでございます。

同時に、市民の皆さまと一緒に汗を流してきたまちづくりと、安定した行財政基盤の確立を進めてまいりました2期8年間の実績をもとに、「人にやさしい温かい街づくり」の更なる前進と山積する課題に対応したまちづくりの施策を展開すること、市民が主役の市政運営を継続することを訴えてまいりました。結果として、多くの市民の皆さまのご支持をいただき、今まで進めてまいりました市政に対するご支援と、人にやさしい温かい街づくりに対する期待の大きさを実感しております。

私は、3期目の市政運営に当たり、引き続き、市民が主役の行政「を基本理念として堅持しつつ、自分たちのまちを自分たちで創る」という考え方のもと、市民の皆さま一人ひとりが自分たちも責任と自覚を持ってまちづくりを進める市民参画型の市政、市民と行政が共通の認識を持って進める協働のまちづくりを大きく展開するとともに、将来を見据えた行財政基盤の確立を図り、岩見沢市の自立と活性化を目指していかなければならないと考えております。

私は、このような厳しい現状を直視し、2期目に引き続き長期的な重点課題である「福祉・医療・教育」の充実に取り組むとともに、市民や企業、行政が責任を分担し協働してまちづくりを進めることができるよう、条例化を念頭に住民自治を推進してまいります。

また、地域産業・経済の振興、中心市街地の活性化、徹底した行財政改革の推進を重点的に進めてまいりたいと考えております。

これらの重点項目を含め、市政運営に当たっての基本方向につきましては、公約の柱として掲げました「安心」「信頼」「活力」、そして「希望」の4つのキーワードに沿って申し上げます。

「安心」

市民生活の安全と安心を守ること、行政としての最も基本的な責務

であります。少子高齢社会においては、地域がともに支えあうことが必要であり、市民自らの自主的な活動を支援することを基調として取り組んでまいります。「自助・共助・公助」の考え方のもと、災害に強いまちづくりを推進するとともに、自主排雪事業の利用拡大など除排雪対策の更なる充実を図ってまいります。

ごみ処理については、井戸端会議における市民意見や、きれいなまちづくり検討会議の結果などを踏まえ、岩見沢市にふさわしい処理方法を決定してまいります。

道路や上下水道施設などの生活基盤については、市民生活に直結することから、引き続き計画的な整備と維持管理の充実を図るとともに、市営住宅の建設や公園・緑地の整備など、安全で快適な生活環境づくりを進めてまいります。

子育て支援として、子どもを健やかに安心して生み育てることのできるような環境の整備と支援対策に引き続き取り組むほか、全ての市民が生き生きと健康で暮らせるよう、市民が自ら取り組む健康づくりを促進するとともに、介護予防や介護支援

を受けられる体制の整備に努めてまいります。また、身体に障がいを持つ方々の自立を支援し、社会参画を推進するための環境整備を進めてまいります。

市立総合病院を核とした病診連携を強化し、南空知の中核としての地域医療体制の確保や高度医療基盤の拡充・整備を進めてまいります。

信頼

これまでと同じように行政が全ての分野にわたって、サービスを提供することが困難な時代になっており、行政サービスのあり方についての基本的な議論を深め、市民と行政との適切な役割分担を構築していく必要があります。

市民と行政との協働により、真に豊かな「いわみざわ」を創造していくため、市民の皆さまと市職員が共通の理解と認識を深めながら、住民自治モデル地区などの地域づくり活動や、防災対策、除排雪、環境美化など、これまで進めてきた様々な分野の取り組みをベースとして、岩見沢市にふさわしい住民自治の確立に取り組んでまいります。

市民参画をより一層推進し、住民自治の推進や協働のまちづくりを進めるためには、市民から信頼される行政であり続けることが大切であり、市役所の持つ行政情報の積極的

な提供と併せ、ごみ処理問題を教訓として、行政上の問題点や進行状況などに関する正確な情報が共有できるように、職員の意識改革や相互連携を徹底してまいります。

厳しい自治体運営という現実に対応するため、行政の持つ人的・物的資源や限られた財源を効率よく投下する、「選択と集中」の視点に立つて、引き続き簡素で効率的な行政運営や職員の人事管理・人材育成を進めるとともに、長期的な展望を持って、持続可能な安定した財政基盤を確立すべく、徹底した行財政改革を推進してまいります。

活力

岩見沢を活気に満ち、元気あふれるまちにするため、基幹産業である農業の振興と中心市街地の活性化を進めるとともに、活発な企業活動や自主的な市民活動を促進してまいります。

農業をもっと魅力あるものにするため、地場農産品の消費拡大や付加価値向上対策など、農業所得の向上に重点を置くとともに、農業生産基盤の整備による競争力の強化、後継者対策など担い手の育成・確保に取り組んでまいります。

中心市街地の賑わいを創出するため、生涯学習センターの整備など中心市街地活性化基本計画に盛り込ま

れた事業を官民一体となって実施するとともに、「中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョン」の策定と併せて、ポルタビルについて、中心市街地の活性化を図る観点から検討を進めてまいります。

他の自治体に先駆けて整備したIT基盤を活用し、情報産業を始めとする産業集積の促進や新規起業者の育成を進めてまいります。また、土木・建設事業費等の確保に努めるなど、地域産業の下支えや雇用の確保を図るための取り組みを進めてまいります。

高齢者が、自らの優れた知識と経験を生かし活躍できる環境を整備するとともに、市民参画による、みんなで創る「みんなのまち」を推進するとの考えのもと、市民自らが行う自主活動に対する支援を進め、市民活動の活性化に努めてまいります。

希望

市の将来を担う子どもたちは宝であり、次代を担う子どもたちが健やかに、明るく元気に伸び伸びと育つことを願い、「学びの場」である小・中学校の施設・設備の計画的整備を進めるとともに、礼節を重んじる態度や豊かな人間性を育むことのできる環境の整備に努めてまいります。

北海道教育大学岩見沢校の持つ豊富な知識やノウハウ、人材などを活

用し、地域と連携したまちづくりを通して、芸術・文化、スポーツの振興を図ってまいります。

まちの顔をつくり、賑わいや活気を取り戻すため、駅周辺・駅北地区や駅前通の整備を促進するとともに、街なか居住に寄与する民間事業者の取り組みを支援するなど、歩いて暮らすことの出来るコンパクトなまちづくりを目指す取り組みを進めてまいります。

新岩見沢市総合計画のもと、市民と行政が将来ビジョンを共有し、地域の特性を生かした均衡ある発展と更なる飛躍を目指すまちづくりを推進するとともに、他の自治体との広域連携の強化や新たな展開をリードするなど、空知の中心都市としての地位の確立に努めてまいります。

当面する課題につきましては、速やかに、また実態に即して現実的に対応するとともに、中・長期的な視点に立つて市政を運営し、市民生活の質的向上と地域振興を図るための努力を重ねてまいりたいと考えております。

また、私たちのまち岩見沢が住みやすいまちと言われ、市民の皆さまが地域において安心して暮らすことのできるよう、「人にやさしい温かい街づくり」の更なる推進を図ってまいりたいと考えているところでございます。